

10月18日夜半のケアハウスの失火に際しましては、多大なご迷惑とご心配をおかけいたしましたこと、まことに申し訳なく、深くおわび申し上げます。

今般の火災は、ケアハウスご入居者様の居室からの失火で、消防車が出動する事態となりましたが、出火時、夜勤の職員が直ぐに駆けつけ、ボヤの段階で消火したことから、大事には至りませんでした。

その際、自動的にスプリンクラーが作動したため、放水によりエレベーターやナースコール、電気設備等に大きな損害がでましたが、失火元の居室以外の同フロアの居室への浸入はわずかであったため、ご入居の皆様には、直ぐに普段通りの生活にお戻りいただいております。

職員の過失による火災ではなく、類焼もなかったことは何よりの救いでありましたが、今後に向け同様の事態が起きないように、しっかりとした検証を行い、必要な対策を講じて参るよう致します。

社会福祉法人萩の里
理事長 阿部 仁美